

瑞穂市地域支え合い推進会議（第1層協議体）の取り組み

○平成30年9月6日（木）

瑞穂市総合センターサンシャインホールにて福祉のまちづくり研修会を開催しました。

講師 関西学院大学人間福祉学部教授 牧里 每治 氏

皆が楽しいと感じることを大切に、支え合い活動を進めていく大切さを学びました。



○平成30年12月18日（火）

「認知症になっても安心して暮らしていけるまちづくり」にかかる提言書を市長に提出しました。情報発信・情報交換の場づくり・相談できる仕組みづくり・勉強会の開催の4点についての提言を行いました。



○平成31年1月12日（土）、13日（日）

大阪府豊中市で行われた第12回全国校区・小地域福祉活動サミットへ市民のかた26名と参加しました。住民ボランティア8,000人を抱える豊中ならではの豊富な事例紹介がありました。2日目は豊中市内の拠点へ赴き、シンポジウムやサロン体験を通し、直接活動者のかたより熱意あるお話を伺い、小地域福祉活動への期待を持つことができました。



○平成31年3月21日（木）

瑞穂市総合センターあじさいホールにて支え合いのまちづくり講演会を開催しました。

講師 住民流福祉総合研究所所長 木原 孝久 氏

支える側だけでなく支えられる側への啓発についての、意識付けが大切であると学びました。



○令和元年9月19日（木）

瑞穂市総合センターサンシャインホールにて、支え合えるまちづくり講演会を開催しました。

講師 東北福祉大学総合マネジメント学部教授 高橋 誠一 氏

周りの人とのつながり、皆で支え合うことの大切さについて学びました。



○令和2年1月25日（土）、26日（日）

埼玉県狭山市で行われた第13回全国校区・小地域福祉活動サミット in さやまへ市民のかた24名と参加しました。全国の地域福祉に関わる活動者のかたが1000人以上参加のもと、様々なテーマの分科会・交流会が行われました。本サミットでは活動者同士の意見交換に重点が置かれ、全国のかたと直接本音で語り合い、新たなつながりをつくることができました。参加者のかたを中心としてサミットの熱気を市内にも広げ、お互いに支え合えるまちにしていきたいと思えます。



○令和2年4月21日（火）

「高齢者の外出支援対策」にかかる提言書を市長に提出しました。

①現状の移動支援のさらなる充実

②住民主体での移動支援サービスの立ち上げとその支援

③コミュニティを主体とした便利な買い物の仕組みづくりとその支援

上記3点についての提言を行いました。

